戸畑あやめの特徴

草　丈　10～15センチ位
普通のあやめと比較してずっと小型です。
花が終わると葉丈が30センチ以上に伸びます。

花　色　紫・まれに白・絞り

その他　花茎が短く、葉丈より低く咲くのが特徴です。

開花時期　5月上旬～

学名　Iris sanguinea var. tobataensis
（イリス　サングィネア　バラエティー　トバタエンシス）
和名　トバタアヤメ

これまでの取り組み

昭和30年　「戸畑郷土史会」で文献（福岡県地理全誌）をもとに調査開始
33年　戸畑区大谷の「真矢農園」で戸畑あやめの株を発見
52年　市民有志による観賞会が開かれ「戸畑あやめ保存会」発足
55年　「戸畑あやめ公園」開設
平成 2年　大阪花の万博「郷土の花部門」出展 銅賞獲得
14年　「とばたあやめを育てる会」発足 「とばたあやめまつり」開催
21年　学名決定

発見のきっかけとなった「福岡県地理全誌」「巻之50、中原村」（明治初期に刊行された記録）に

【此野ニ。異草一種ヲ生ス。俗ニ小杜若ト称ス。其燕子花ニ似タルヲ以テ名ク。大ナルモ2、3寸ニ過キス。小ナルハ。寸余ナリ。4月頃、紫色ノ花ヲ開ク。稀ニ白絞アルヲ見ル。人愛シテ他ニ移シ植レハ其性変シテ、茎伸ヒ。花モ亦少シ。野ノ内側2、3町ニ限リテ生ス。隣境ニハナシ。】

と記載されていました。

◀「福岡県地理全誌」

明治新政府が「明治6年、朝廷皇国地誌ヲ修ム」と朝廷の名で各府県に命じ、福岡県は明治8年に150稿を作成し上進しました。

伝説の花　戸畑あやめ　見どころ

●戸畑あやめ公園（北九州市戸畑区西大谷二丁目4番）
［アクセス］JR戸畑駅から：西鉄バス44番〈猪倉行〉西大谷下車・42番〈黒崎・小嶺行〉市営住宅前下車　※徒歩5分

●ウェルとばた
［アクセス］JR戸畑駅に隣接
（4月下旬～5月中旬まで鑑賞可能）

●浅生1号公園
［アクセス］戸畑区役所から徒歩2分
（区役所正面の公園）

●戸畑区役所屋上庭園
［アクセス］JR戸畑駅から：徒歩20分
西鉄バス〈小倉方面行〉戸畑区役所下車　※徒歩3分

●夜宮公園（噴水広場〈夜宮池側〉）
［アクセス］西鉄バス〈小倉方面行〉
沢見1丁目下車　※徒歩10分

●浅生スポーツセンター
［アクセス］戸畑区役所から徒歩2分
（平成29年度植栽実施）